

# 2000万署名で 流れを変える

## 戦争法強行忘れたまるか

戦争法強行から3カ月たった19日、「自衛隊を戦場へ送るな」と訴える講演集会在東京都内で開かれました。主催は総がかり行動実行委員会。会場に入りきれなかった人などを含め、2200人が参加したと報告されました。

### 総がかり実行委 東京で講演集会

元陸上自衛隊レンジャー隊員の井筒高雄氏は「戦争法と自衛隊」と題して報告。「実践経験のない自衛隊が、海外の戦争に首を突っ込むことになる。戦争法は廃止しかない」と訴えました。

労働弁護団前幹事長の高木太郎氏は、電話相談に寄せられた自衛隊員の家族や恋人らからの声を紹介。「自衛

隊員と家族に代わって私たちが戦争に行くな」と声をあげていくと呼びかけました。東京都北区から友人と参加した椎名街子さん(69)は「自衛隊の実態がリアルにわかったので、幅広い人たちに戦争法廃止を求める署名を呼びかけたい。2000万人をやりきって、社会の流れを自分たちの力で変えた



自衛隊を戦場へ送るなと題して開かれた総がかり講演集会で、あいさつする野党4党代表=19日、東京都北区

い」と語りました。日本共産党の山下芳生書記局長、民主党の小川敏夫参院幹事長、社民党の吉田忠智党首、生活の党の渡辺浩一郎元衆院議員があいさつしました。

総がかり行動委を構成する3団体の代表が署名の取り組む決意表明。中野晃一・上智大学教授が連帯あいさつしました。



「まだまだ忘れない」とデモ行進する高校生たち＝19日、大阪市

# 私たちの命 粗末にさせない

## 大阪 高校生が御堂筋デモ

### 志位氏スピーチ

「戦争法成立から3カ月たったが、まだまだ忘れない」。19日、制服姿の高校生ら200人が大阪市のメイン通り・御堂筋を安保法制に反対とデモ行進しました。サウンドカーを先頭に軽快なリズムで「選挙に行こうよ」「一緒に歩いて一緒に止めよう」とアピール。飛び入り参加する青年もいました。ティーンズウル・ウエストの主催。

憲法を無視し、私たちの命を適当に扱う安倍政権を許すことはできない」と述べました。

大阪府池田市から来た女子高校生(18)は「法律が通ってからも声は上げ続けたいといけません。この問題を参院選で大きな判断材料にしたい」と話しました。

出発前集会で、日本共産党の志位和夫委員長がスピーチ。志位氏と民主党の尾立源幸参院議員、社民党の服部良一元衆院議員が手をつなぐと「野党は共闘」のコールがわきあがりました。

車上から中高生がスピーチ。初めてマイクを持った高校3年あゆさん(18)は「安倍さんは戦争にはならないと言いますが、時の政府が戦争したいと思えば歯止めがないのが戦争法。」

# 長野のママ・市民21団体

## 「野党統一候補を」

アピール発表

### デモ行進

戦争法(安保法制)

廃止を求め行動する長野県内の子育てママたちと市民グループ21団体



アピールウォークの先頭に立つ、(左から)ママの会と社民、民主、共産の各党代表。19日、長野市

統一候補擁立を求める共同アピール」を連名で発表し民主、共産、社民の野党3党に共同実現を訴えました。

もどすの3点を一致点に、「1人区で必ず勝てる統一候補」擁立をと述べています。アピールには、安保

アピールは「野党が統一候補を擁立し、協力」をとして、強行採決後も女性とくに子育てママなど廃止運動が広がっていることを強調したうえで、参院選では①安保関連法の廃止②集団的自衛権行使容認の「閣議決定」撤回③日本の政治に立憲主義と民主主義をとり

関連法に反対するママの会信州、うえたなないるアクション、ママは戦争しないと決めた実行委員会の呼びかけ3団体を含む、21団体が賛同。同日の「クリスマス・アピールウォーク」(長野市)の場で野党3党にアピールを手渡しました。

同ウォークでは共産党から唐沢ちあき・党県若者・雇用対策室長(参院選挙区候補)があいさつ。北沢俊美・民主党参院議員からの、県民との連帯を広げ「全力を挙げて自公政権に勝利する」とのメッセージが紹介されました。